

1. 背景・目的

- 泉大津市域内で大阪府港湾局が所有するスポーツ施設（これまで泉大津市が指定管理者として管理）と、泉大津市自身のスポーツ施設とあわせて、効率的・効果的な管理を行うため、両者を包括的に民間事業者が管理できるような指定管理者制度の導入に向けた検討を推進するもの。
- 大阪府と泉大津市の自治体間連携の場と、泉大津市下の府市スポーツ施設の包括的な指定管理者制度の導入に関する民間事業者対話の場の運営を行った。



2. 事業概要

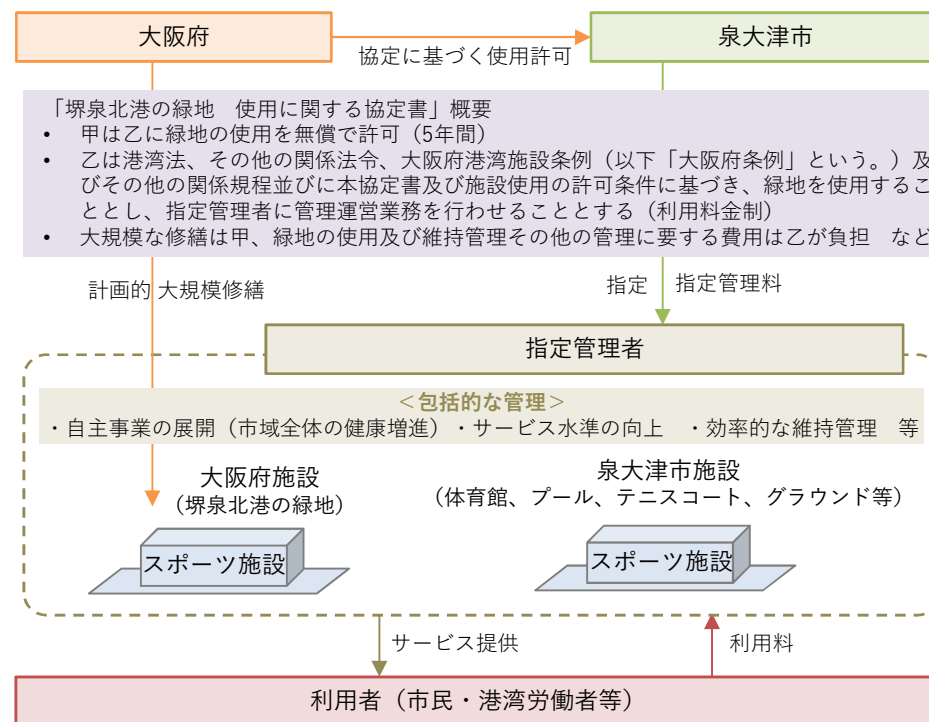
対象テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・府市連携による効果的なスポーツ施設管理運営手法の具現化 ・府市スポーツ施設群における民間活力を活用した包括的な管理運営手法の具現化
プラットフォーム機能	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と泉大津市間の協議・調整の場 ・包括的なスポーツ施設の指定管理者制度導入に向けた事業者対話の場 ・包括的なスポーツ施設の指定管理者選定の場

3. 地域プラットフォームの取組概要

- ①府市連携によるスポーツ施設管理スキームの検討・調整
堺泉北港の緑地の使用に関する府市連携方策及び役割分担に関する協議をおこない、望ましい連携形態に関する具体化を行った。
- ②協定書に基づく包括的なスポーツ施設管理の民間参入条件の検討・整理
協定書に基づく包括的なスポーツ施設の管理運営のあり方について、民間事業者との対話を通じて、実行性の高い管理運営要件（業務内容、業務水準、リスク分担、指定管理料の設定等）について検討・整理を行った。
- ③協定書に基づく包括的なスポーツ施設の指定管理者の選定・導入準備
上記①・②を踏まえ、市・学識者・府（オブザーバー）で構成する指定管理者選定委員会を立ち上げ、事業者を募集・選定。提案の実行性を担保する協定書等の調整を行い、指定管理者制度導入に向けた準備を推進。

4. 取組成果

- 大阪府の施設である堺泉北港の緑地の使用に関し、大阪府（甲）と泉大津市（乙）において協定書を締結。
- 大阪府施設（堺泉北港の緑地）と泉大津市下のスポーツ施設を包括的に管理運営する指定管理者を選定。（大阪府はオブザーバーとして選定委員会に参加）
- 府市連携の下で、民間活力を活用した包括的な施設管理運営を具現化することで、スケールメリットを生かした利用者へのサービス水準の向上・維持管理の合理化が見込まれるとともに、施設管理に伴う（指定管理者選定・外部委託手続き等）事務手続き等の合理化が見込まれる。



5. 今後の活動計画

- 「堺泉北港の緑地 使用に関する協定書」に基づき、大阪府・堺泉北港の緑地および泉大津市スポーツ施設をあわせて、泉大津市（泉大津市が募集・選定した指定管理者）が包括的な管理運営を推進していく。（令和2年度から5年間の予定）
- 上記府市協定に基づき、大阪府は堺泉北港の緑地の計画的な大規模修繕を進めていくとともに、泉大津市は指定管理者との協定に基づき、効果的・効率的な運営を推進し、モニタリングを適切に実施していく。